

「ゼミナール入試」なるものに関する有志による勉強会

第3回 事例研究： 九大21cpとお茶大新フンボルト入試

林 篤裕

(名古屋工業大学 社会工学専攻
& アドミッションオフィス長)



e-mail: hayashi.atsumuro@nitech.ac.jp



資料掲載URL: stat.web.nitech.ac.jp/haifu/Nagasaki2107/

本日の流れ

- I) 九州大学 21世紀プログラム
- II) お茶の水女子大学 新フンボルト入試
～ 外部評価委員の視点から ～
- III) 『「ゼミナール入試」なるもの』のまとめ

◆資料置き場URL

stat.web.nitech.ac.jp/haifu/Nagasaki2107/

- ◆ 第3回のための事前閲覧資料 (7月13日公開): 前提
- ◆ 本日の提示資料 (7月28日公開)
 - 関連URLsも

I) 九州大学 21世紀プログラム

- ◆ 高大接続特別部会 第7回('13.05)の資料を元に
 - 【参照】事前閲覧資料: 既にお目通し済みとの前提で

- ◆ 最新情報は以下サイトで: 21cpホームページ

U1

- <https://www.21cp.kyushu-u.ac.jp/>

U2

- ◆ 『中等教育資料』平成27(2015)年5月号に記事あり

- ◆ 21cpの紹介: 理念、修学の枠組み、卒業後の進路

- ◆ 2017年度をもって募集を停止

- ◆ 選抜方法 <=== ◎本日のメイン

- ◆ AP、第1次・第2次選抜、評価体制・方法

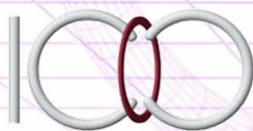
- ◆ 初期は図書館も利用可能だった(移転に伴い困難に)

U3

- ◆ 【一読価値?】高大接続答申(2014(H26)年12月、中央教育審議会)

U4

- ◆ 大学入試のあり方に関する検討会議(2021年7月) 3



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011

知の新世紀を拓く

中教審高大接続特別部会(20分)

05/24/13 @文科省(東京)

九州大学21世紀プログラムの紹介 ～選抜方法を中心に～

林 篤裕

(九州大学 基幹教育院
& アドミッションセンター)

(21世紀プログラム主導教員)

e-mail: hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp



九州大学AO入試 2014年度AO入試

文学部			
教育学部	★	10	
法学部			09年で終了, 15年に再登場
経済学部			
理学部	物理	10	
	化学	15	
	地球惑星	8	
	数学	8	
	生物	5	
医学部	医学		
	生命科学		
	看護	9	
	保健	放射線	6
		検査	6

21世紀プログラム

★

26

歯学部		8
薬学部	創薬科学	
	臨床薬学	12年で終了
工学部		
芸術工学部	環境設計	8
	工業設計	15
	画像設計	18
	音響設計	5
	芸術情報設計	8
農学部		20

6+1学部 17募集区分
総募集人員 185名

定員の
7.2%

★: センター試験を課さない

5

4

【学生募集要項 P1】

The 21st Century Program 理念

専門性の高いゼネラリスト

創造を引き出す知識と
基礎的な知識

21世紀
プログラム

「外」に開かれた知識

学部横断的な教育プログラム

5

6

21世紀プログラム：教育の枠組み

2003年度 文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択



幅広い教養、表現力、国際性を身につけ、チューターの指導を受けつつ、
 いろんな学部の専門を組み合わせる「自分だけの専門」を創る。

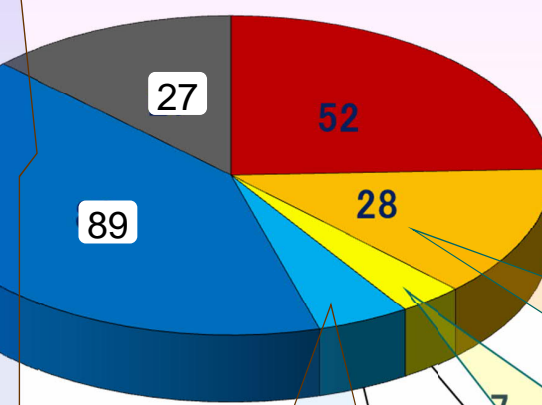
The 21st Century Program 卒業生の進路

卒業した第1期生～第9期生(213名)

就職
46.5%

大学院進学率
40.8%

トヨタ、ベネッセ、三菱商事、丸紅、NHK、長崎放送、NTT西日本、住友信託銀行、みずほインベスターズ証券、JIMOS、南山堂、カプコン、トーヨーキッチン&リビング、九州経済調査協会、インターネットビジネスジャパン、サンマリノ、税理事務所(株)、FBS福岡放送、かんぽ生命、ニチレイフーズ、シンプレクス・テクノロジー、三菱重工業、竹中工務店、アクティブハカタ(所属タレント)、日本たばこ産業、福岡銀行、旭硝子、新日本製薬、東京海上日動火災保険、住友商事、東洋化成株式会社など



- 本学大学院
- 他大学大学院等
- 外国の大学院等
- 公官庁
- 一般企業
- その他

東京大学、大阪大学、琉球大学、奈良先端大学院大学、総合研究大学院大学、早稲田大学、名古屋大学、京都大学、一橋大学、京都大学、お茶の水女子大学など

福岡市消防局、松山市役所、参議院事務局、裁判所、外務省(在リトアニア日本大使館)、宮崎市役所、佐賀県庁など

コロンビア大学(米)、ワイカト大学(NZ)、ワシントン大学(米)、バンベルク大学(独)、フィリピン大学、ハワイ大学など(予定を含む)

The 21st Century Program 課程現況

	入学期	募集	合格者	年度	入学者	転課程学部	交換留学	語学研修等	卒業者	うち大学院進学者
卒業	1期	18	20 (5)	2001	20 (5)	1 (0)				
	2期		22 (6)	2002	22 (6)	2 (1)	7			
	3期	21	19 (5)	2003	19 (5)	0 (0)	8	20		
	4期	26	25 (5)	2004	25 (5)	1 (1)	5	8	16	11
	5期		30 (12)	2005	30 (12)	1 (0)	2	4	25	12
	6期		27 (7)	2006	26 (7)	2 (1)	10	5	15	9
	7期		27 (9)	2007	26 (8)	2 (1)	10	2	20	9
	8期		27 (10)	2008	27 (10)	2 (1)	6	4	33	13
	9期		28 (7)	2009	27 (7)	1 (0)	9	4	28	7
	10期		27 (6)	2010	27 (6)	1 (0)	10	6	19	9
	11期		25 (8)	2011	25 (8)	0 (0)	7	8	27	8
12期	28 (10)		2012	28 (10)	0 (0)	6	17	30	11	
在学	13期			25 (9)	2013	25 (9)	1 (0)	13	10	24
	14期		25 (5)	2014	25 (5)	0 (0)	9	18	24	4
	15期		25 (7)	2015	24 (7)	0 (0)				
	総計		380(111)		376(110)	14 (6)	102	106	261	97
	在学生数	103 (31)								

(カッコは男子で内数。2015/4/1現在)

【学生募集要項 P5】

The 21st Century Program 求める学生像

問題の発見とその解明をめざす自主性

文系理系にこだわらず
幅広く学びたい
という学問的関心

政治、社会、歴史、
文化、自然に対する
一定以上の教養

求める学生像
アドミッションポリシー

学問を積極的に学びたい
という意欲や能力

語学力を身につけよう
という意欲

The 21st Century Program 選抜の流れ

願書受付	9月下旬	9/24(月)~28(金)
	調査書, 志望理由書, 活動歴報告書	
第1次選抜	10月中旬 書類審査	10/19(金)頃 1次合格発表
第2次選抜	11月上旬	
第1日目	講義・レポート (3テーマ)	11/3(土)
第2日目	グループ討論, 小論文, 個人面接	11/4(日)
合格発表	11月下旬	11/26(月) 2次合格発表

選抜の過程が入学後の修学の過程

(日程は13年度のもの)

11

11

第1次選抜

- ◆ 出願時提出資料
 - ◆ 志望理由書(2面)
 - 志望する理由、自己の適性や抱負
 - ◆ 調査書等(内申書)
 - ◆ 活動歴報告書(2面): 中学からの活動を記載可
 - 各種活動、表彰、資格等
- ◆ 書類審査
 - ◆ 「AP」や「求める学生像」との合致度合を評価
 - 理念の理解度等
 - ◆ 試験場施設の関係から3倍程度に絞る
(13年度の例では~~78名。3.0倍~~)

80名。3.1倍

12

12

第2次選抜



第1日目(土曜日)

9:30-11:30 講義1・レポート1 (120分)

12:30-14:30 講義2・レポート2 (120分)

15:00-17:00 講義3・レポート3 (120分)

軸が違う3テーマ
講義:約50分
レポート:約70分

講義や資料に
英語を含むことがある

第2日目(日曜日)

論題は当日朝に提示("予習"を避けるため)

9:00-11:30 グループ討論 (150分)

3つの講義から2つを選んで討論

12:30-17:00 小論文 (270分)、個人面接

15分/人

3つの講義のいずれかに関連するテーマを設定して作成

随時別室で休憩可

The 21st Century Program 講義

年度	題目
H20 (2008)	1 大学の社会的機能の変化
	2 住民の視点から FROM THE NATIVE'S POINT OF VIEW
	3 薬と遺伝子
H21 (2009)	1 イエズス会士が観た16世紀の日本
	2 原子力損害賠償法を見直すべきか
	3 作物増収の戦略における植物の機能
H22 (2010)	1 読むことの意義
	2 いまどきの「権力」を考える
	3 南極の地球科学と地球環境変動
H23 (2011)	1 日本における死因究明制度
	2 おとぎ話とジェンダー
	3 学ぶことと働くこと
H24 (2012)	1 放射線と健康の科学
	2 歴史 学問と教科の間
	3 民主主義の根底にあるもの
H25 (2013)	1 「邪馬台国」と考古学 - 通説と考古学の間 -
	2 独裁体制はいかに維持されるのか
	3 The Wonder of Water (水の不思議)

直近6年分。
全13年分は
最終ページ。

- ☞ 楽しく受験することができてよかった
- ☞ いろんな方がいてとても楽しかった
- ☞ 心底惚れ込みました。絶対に来たい。
- ☞ 大学の講義を聴けただけでも、受けた甲斐があった...
- ☞ 何の話があるのか興味津々だった
- ☞ もらった振り子の重りの5円玉は合格のお守りに...



1次	書類審査
委員	●●●●
志望理由書	全志願者 (112名)
調査書等	
活動歴報告書	

2次	講義1	講義2	講義3
A委員	●●●●	●●●●	●●●●
レポート	●:主担当		
小論文	全受験生(78名)		
	選択した受験生(~45名)		

他に監督等
5~10名

2次	あ	い	う	え	お
B委員	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
討論	●:文系、●:理系、●:カウンセラー / 3名中1名女性				
面接	1グループ受験生16名程度				

(人数は13年度のもの)

- ◆ 評価は、A~Dの4段階評価
(活動歴報告書は3段階評価)

第2次選抜 グループ分け(討論、面接)

第1次成績

- ◆ 第1次成績を均等化
右表をベースにし、さらに
- ◆ 男女比が均等
- ◆ 現浪比が均等
- ◆ 地域性が均等
- ◆ 同一高校別グループ
になるように組換え

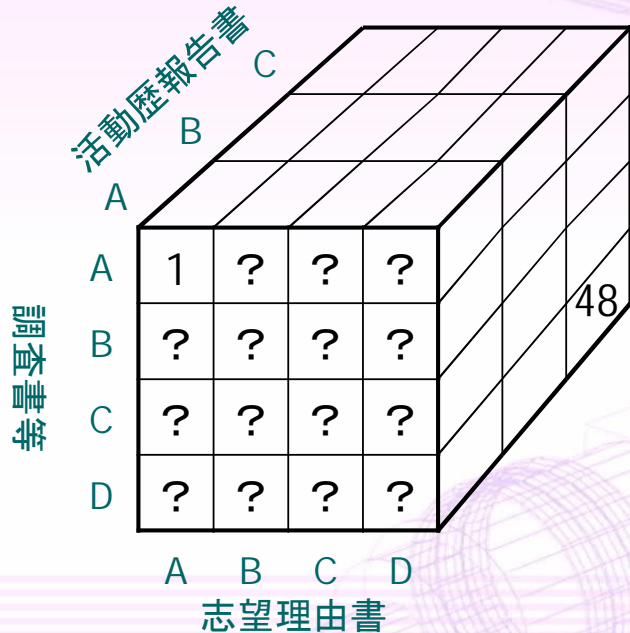
あ	い	う	え	お
1	→ 2	3	4	5
10	9	8	7	← 6
↓				↓
11	→ 12	13	14	15
20	19	18	17	← 16
↓				↓
21	→ 22	23	24	25
30	← 29	28	27	26

多次元マトリックス方式

例: 第1次選抜の順位付け(3次元)

1次: 書類審査
4名の委員が各々に
全受験生を評価

- ①志望理由書
 - ②調査書等
 - ③活動歴報告書
- を3次元で評価



17

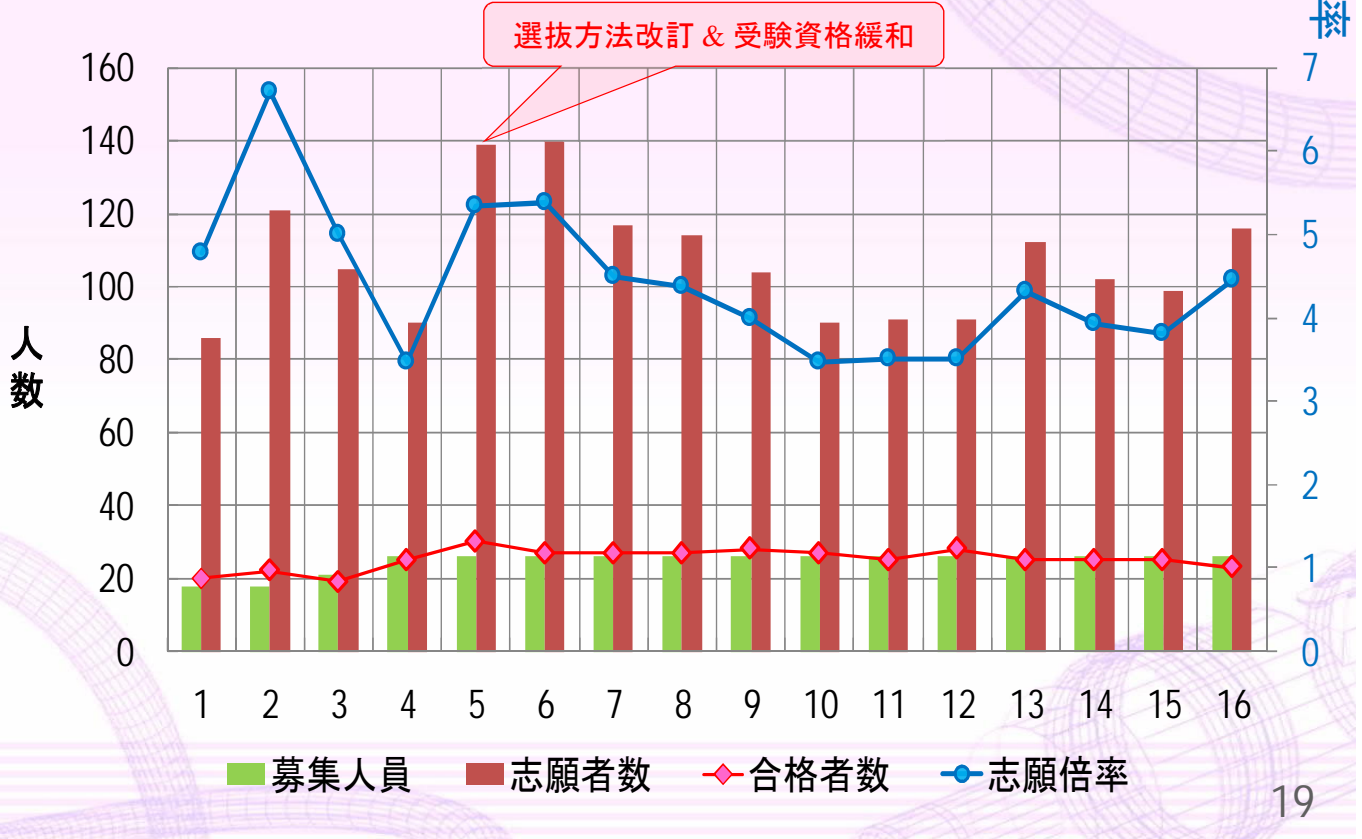
17

評価方法

- ◆ 評価: A~D (活動歴報告書はA~C)
- ◆ 評価順位: 1位~48位: 直方体のセル
- ◆ 評価(順位)点: 1位~受験者数
 - ◆ 同一順位の人数を考慮した順位
- ◆ 合計評価点: 評価者ごとの順位の総和
 - ◆ 値が小さい方が高順位
- ◆ 査定
 - ◆ 選抜に関係した35名程度で行う
 - ◆ 討論・面接時の対応、レポート・小論文の評価
 - ◆ D評価を付けた理由について
 - ◆

18

18



Ⅱ) お茶の水女子大学 新フンボルト入試 ～ 外部評価委員の視点から ～ (1)

◆ 【参照】事前閲覧資料: 既にお目通し済みとの前提で

- ◆ [紹介動画]、[R4募集要項]、[R4プレゼミナール]
- ◆ 「フンボルト」の名称の由来も

◆ [資料]令和4年度情報(最新)

- ◆ 総合型選抜(新フンボルト入試)・プレゼミナール案内

U5

- https://www.ao.ocha.ac.jp/ao/body/aotop_d/fil/2021information.pdf

- ◆ 総合型選抜(新フンボルト入試)

U6

- <https://www.ao.ocha.ac.jp/ao/>

- ◆ 新フンボルト入試Q&A

U7

- <https://www.ao.ocha.ac.jp/ao/body/d004561.html>

Ⅱ) お茶の水女子大学 新フンボルト入試 ～ 外部評価委員の視点から ～ (2)

◆ [資料] AP関係資料URL

◆ 大学教育再生加速プログラム (AP)

U8 ● <https://www.jsps.go.jp/j-ap/>

◆ 選定取組概要: 平成26年度 選定取組

U9 ● https://www.jsps.go.jp/j-ap/sentei_torikumi.html

● 【テーマⅢ (入試改革)】

■ お茶の水女子大、追手門学院大等の各種提出書類

◆ 【蛇足】長崎大学もH26に[テーマⅠ・Ⅱ複合型]に申請 & 採択

◆ テーマⅠ (アクティブ・ラーニング) / テーマⅡ (学修成果の可視化)

◆ 申請は88機関、採択は21機関(含長崎大学)

◆ 3年間の申請で77機関が採択(テーマⅠ～Ⅴ)



Ⅱ) お茶の水女子大学 新フンボルト入試 ～ 外部評価委員の視点から ～ (3)

◆ 理念: 「伸びしろのある学生の選抜」

◆ 21cp の選抜方法も訪問調査されて

◆ 文系と理系で独立に方法を模索 <====> 21cp

◆ 図書館入試は文系側だけ

◆ それぞれの学科で講義・実験を担当

● 今年の例: 文系 5テーマ、理系 4テーマ

◆ 少しずつ変更を加えている

◆ 不断の改良

Ⅱ) お茶の水女子大学 新フンボルト入試 ～ 外部評価委員の視点から ～ (4)

- ◆ プレゼミナールは受験生だけでなく
高校2年生にも開放している。広報としても?
- ◆ 「高校生の日頃の生活の一環として」
by 安成先生 on 動画
- ◆ 検討事項
 - ◆ 文系・理系と区別することが妥当なのか?
 - ◆ 毎年テーマを決めて各学科が
それぞれに担当していることの疲労感はないのか?

23

Ⅲ) 『「ゼミナール入試」なるもの』のまとめ(1)

- ◆ 「ゼミナール入試」: 定義? 試験内容に規定ある?
- ◆ 大学教育の一端を体験: 講義、ゼミ、レポート等
 - ◆ 聞く、読む、考える、議論する、まとめる、.....
 - ◆ 思考力、表現力、協働性、..... <=== 主体性の評価は?
- ◆ 「日頃の高校生活」を評価: “対策は不要/困難?”
 - ◆ 何を考えてきた? 大学に何を求めている? その準備状況は?
 - ◆ 高校教育の支援になる? 日頃からの「考える」習慣
- ◆ 「持ち帰ってもらえるものがある」≡「楽しんでもらえる」?
- ◆ 「総合大学なら導入・実施すべき入試」
at 21cp外部評価時のコメント

24

Ⅲ) 『「ゼミナール入試」なるもの』のまとめ(2)

- ◆ 関係する教員数・事務職員数も多い
- ◆ 非常に手間がかかる →
 - ◆ 実施側だけでなく受験側も
 - ◆ 準備、委員の選定・確保
 - ◆ 評価方法、公平性、.....
- ◆ 惜しむべきではない
- ◆ “良い”学生の獲得
- ◆ 理念に沿った学生
- ◆ 改良を続けながら継続
- ◆ 入試の実施: 学内の人的ネットワークの必要性
- ◆ 1次と2次に相関はあまりない=悪いことではない
 - ◆ “優秀な”受験生の取りこぼしは
1次選抜において是非とも避けなければならない
- ◆ 評価方法: 細かなルーブリックは存在しない
 - ◆ 評価値の大まかな頻度等
 - ◆ 「自分が卒論指導したいと思えるか？」

25

Ⅲ) 『「ゼミナール入試」なるもの』のまとめ(3)

◆ 「試験」 by 広辞苑 第7版

卒
研

- ◆ 競争試験: 『多数の志願者の中から優秀な者を選抜するための試験』。一般的に定員あり。
- ◆ 資格試験: 『資格付与の際、それにふさわしい力量を持っているかどうかを調べる試験』。一般的に定員なし。
 - ◆ 大学入試: 入学後の修学に耐えられるかを見極める試験。資格試験的な要素も。
- ◆ AO入試=現 総合型選抜
 - ◆ 選抜側の主観の持ち込みが許容される入試
- ◆ 「公平性」の説明性
 - ◆ 選抜する側の倫理観、道徳観、美学(?)、選別眼が求められる
- ◆ 一例(二例?)の紹介に過ぎない。アイデアを持ち寄って。
 - ◆ 長崎大学らしさ。「長崎大学ナイズ」して導入を。
- ◆ 高校と大学の“より良い”橋渡しを目指して

26

【蛇足】山岸先生のご講演へのコメント(1)

- ◆ 21cpと同様の入試をされておられる
 - ◆ 参考例となるのではないか
- ◆ 大学入試
 - ◆ 「出題範囲」: 高校までの学習指導要領に囚われる必要はない(考え方)
 - 識別力は必要
 - ◆ 「入学後の修学に耐えられるか」を評価
 - ◆ 総合型選抜で定員を厳守する必要はない
 - 不足分は一般入試で補充可
 - APの作り込みの重要性
 - ◆ AO入試(総合型選抜) = 主観が許容される試験

27

【蛇足】山岸先生のご講演へのコメント(2)

- ◆ 志望理由書
 - ◆ 高校関係者・保護者の添削が入っているものとして解釈するしかない。逆に見てもらえてない生徒って?
 - ◆ APとの整合性を見る
 - ◆ 個人面接(第2次選抜時)で問うてみる
 - ◆ 第1次選抜で魅力的な受験生を逃すのは避けたい
- ◆ 21cpでの事例
 - ◆ 作題開始時期: 4月から & 日頃から
 - ◆ 講義の予行演習あり。委員相互で指摘・修正。
 - ◆ 集団討論の進行: 自分の意見を述べさせる。場を取りまとめる行為は評価しない。

28